

今回は、パティオ宮益のシンボルモニュメント「フクロウのホープくん」の制作者である佐藤賢太郎さんのお話を、商店街と先生のパイプ役である「ゆーじん画廊」の和田章一郎さんと株式会社ウエマツの会長でおられる上田桂介さんにも一緒にいただき、展覧会でお忙しい中、作品への思いなどお話を伺いました。

聞き手 以前からモニュメントの計画はお有りだったんですか？

上田 渋谷にはあまりにも有名な八千公、南口のモヤイ像などがあるので宮益口にも何か欲しいと思っておりまして、今までなかなかチャンスがなかったんです。昨年JR渋谷駅宮益口に完成した三本のケヤキ広場に町会長が「パティオ宮益」という名前を付けてくださり、そこへシンボルモニュメントを設置しようと町会、振興組合、崇敬会の皆様と相談し、賛成を得て完成することが出来ました。

聞き手 佐藤賢太郎先生とのご縁は？

和田 商店街さんからモニュメントの相談があったときに、彫刻という「フクロウ」という発想ですが、今の環境問題等を考えた時、酸性雨にも強い石像がいいたるう思い、石

だつたら、いい作家がいまいます」ということで佐藤先生を紹介いたしました。賢太郎さんの作品は動物といつてもネコ、フクロウ、ナマズ、カエル等、ユーモアたっぷり作品がた

くさんあり、他に人物などもありますので、ちょうど大宮で行われていた展覧会に商店街の役員の方々と出かけ、非常に気に入っていただきました。賢太郎さんとのご縁は、先生の師匠でいらつし

やる鈴木政夫先生と私の父が昔から親交があり、賢太郎さんもちょうど彫刻家として出発した頃で、父の時代からよく存じておりました。今回は世代を越えて制作依頼をさせていただくことになりました。

聞き手 渋谷に先生の作品を設置したいとの、依頼を受けたときはどうでしたか？

佐藤 繁華街だなーと思いました。本当は三本の木の真ん中に設置したいところですが、何せ場所が場所なので、今の位置になりましたが今後はモニュメントの背景も少し考えてもつと引き立つ様に、安全性も考えていかなければと思っています。

聞き手 どうしてフクロウだったんですか？

上田 縁起のいい生き物だとの高いもの、動物でというこ



とでネコ、フクロウを考え、商店街の活性化、繁栄をもたらすという期待も込め、フクロウがうってつけであると思

いました。また希望を持って生きようということ、名前も動物の目線で考え「ホープくん」と名付けました。評判も上々で喜んでいきます。知恵の神とか繁栄するという事だ

けでなく、皆さんが設置したことによって更に知恵を出しあって努力工夫し、地域の活性化につながる「努力と工夫のシンボル」になって欲しいと思います。この作品を見ること

によって本来、大人も子ども初めから持っている優しさ、思いやりが気づいてくれるように願っています。また商店街が街中にこれを設置すること

とは、いろんな意味で地域への貢献になると思います。

和 田 渋谷にくる若い人にも、一人一人がこの作品を見ることによって一人一人自分の努力するということに、少しでも目

覚めさせてくれる様なものになってくれれば良いと思います。置けばすむという問題ではなく置いた事から始まるという事が一番重要なんです。

でじたる渋谷加盟会員様各個店ホームページは年4回更新・変更可能です。希望の方は直接(有)スタジオキューまでご連絡ください。TEL 03-3462-1439 FAX 03-5459-1439 インターネットタウン誌 でじたる渋谷 <http://www.welcome-shibuya.co.jp>

宮益だより 平成14年4月25日号
発行 渋谷宮益商店街振興組合
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-14-8
TEL 03-3400-2506 FAX 03-3400-6245
発行人 菅野 今朝吉
制作・印刷 有限会社スタジオ・キュー
〒150-0043 東京都渋谷区桜丘町7-8 ハイッ桜丘206
TEL 03-3462-1439 FAX 03-5459-1439
e-mail : cue@welcome-shibuya.co.jp